



発行・編集

No.159

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院

ほうじゅ連携室

石川県能美市緑が丘11-71

☎(0761) 51-5551(代表)



ほうじゅ

検索

2019年 2.3月号の特集ページ 「AI(人工知能)で生活習慣病予防を習慣に!!」



Top NEWS!

3/8 ボランティアお疲れさま会

当院でボランティア活動を行っていただいている皆さんに、1年間ご協力いただいたことへの感謝と情報交換を目的に、「ボランティアお疲れさま会」を開催しました。

当院では、2017年7月にボランティアの受け入れ制度を設けて以来、多くの方々に活動していただいています。今では院内デイケアをはじめ、病棟、エントランス、がん患者サロン、職員向けイベントなど、院内の様々な場所で交流が行われ、病院利用者の皆さん、入院患者さん、病院職員のあいだに多くの笑顔が生まれています。

2017.7～

ボランティア登録者数

個人 6名

団体 6組 61名

活動実績

のべ 89回



オカリナ演奏



当日は、9名のボランティアの方にご参加いただき、日頃の活動を披露してもらおうなど、楽しい時間を過ごしました!!

マジックショー



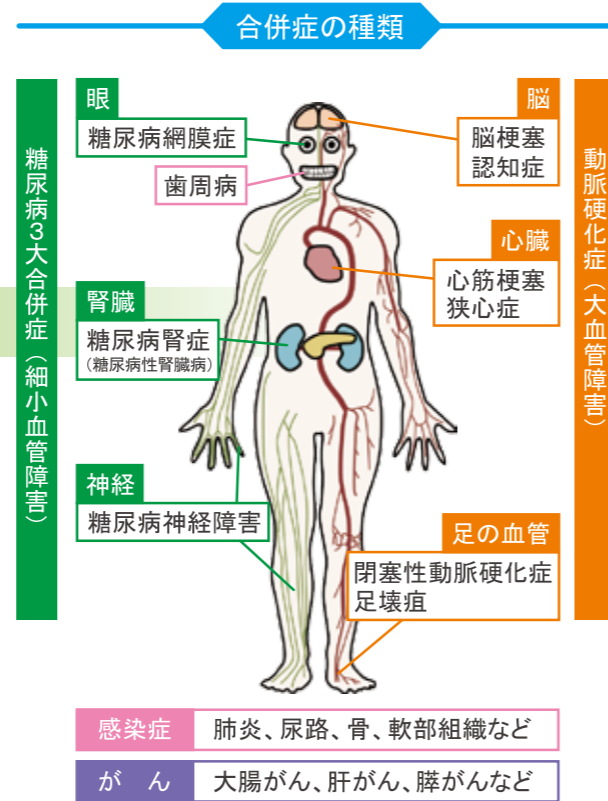
で生活習慣病予防を習慣に!!

当院では金沢大学などと共同で、「AIを用いて生活習慣改善をサポートする研究」*に参画しています。生活習慣の改善に悩んでいる多くの方へ、この研究が目指している AI を使った新しい生活習慣病予防をご紹介します。

研究の背景にある問題

近年日本では、生活習慣の変化や食の欧米化などにより、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった「生活習慣病」が年々増加しています。生活習慣病は、症状が現れることなく進行し、重篤な合併症などを引き起こす恐ろしい病気です(右図参照)。

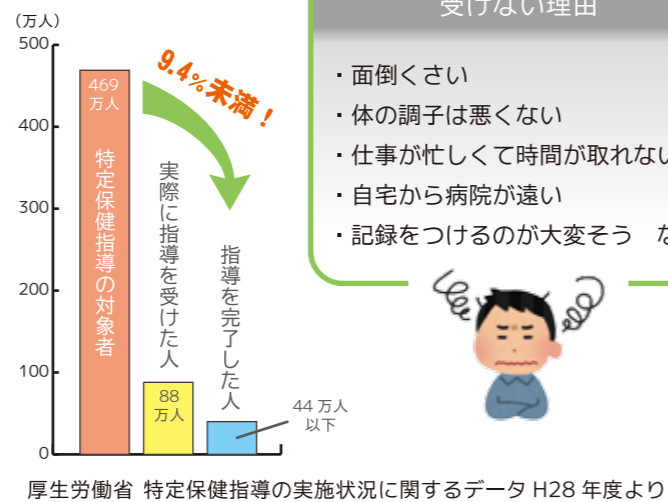
生活習慣病になるリスクが高いメタボリック症候群およびその予備群は、男女とも40歳以上の割合が高く、男性は2人に1人、女性では5人に1人が該当するといわれています。



生活習慣病予防への課題

国はこのような現状を踏まえ、生活習慣病の発症、あるいは重症化や合併症への進行を予防し、生涯にわたって生活の質を維持・向上させるため、40～74歳の方を対象に特定健康診査(メタボ健診)を実施しています。

特定健康診査で基準を上回った人は、メタボリック症候群およびその予備群とされ、生活習慣改善のサポートとして、保健師による6ヵ月間の特定保健指導が行われます。しかし、指導の対象者のうち、指導期間を満了するまで継続した人は、10%にも満たない結果が出ています。



* 金沢大学との共同臨床研究(Kanazawa-SLIM Study)

- 研究名: 生活習慣病に対するオンライン保健指導サービスの構築と行動変容への検証研究
- 研究代表者: 金沢大学 米田 隆 教授
- 当院の研究責任者: 臼倉 幹哉 内科次長
- 実施期間: 2018年11月～2020年3月末
- 研究機関: 金沢大学・株式会社ウィット・北陸先端科学技術大学院大学・北陸中央病院・芳珠記念病院

研究についての詳細 金沢大学 K-SLIM ホームページ <http://k-slim.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

AIを活用した生活習慣病予防

あすけんの利用者は
280万人以上
(2019年3月現在)

“あすけん”アプリで生活習慣を一元管理

“あすけん”は、管理栄養士が監修した AI が、食事の画像からカロリーや栄養素を分析し、利用者の目標に応じて詳細なレポートとアドバイスを行うアプリです。また、スマートフォンに連動する体重計・血圧計にも対応しており、自分のスマホで、食事管理から体の状態の記録、運動記録などをまとめて管理することができます。



★ 研究参加者には貸与します(写真はイメージです)
※ ①・③の画像は 株式会社ウィット 提供

あすけんを使った食事管理

- 1 スマホで食事を撮影
- 2 画像解析 AI がカロリーや栄養素を分析
- 3 栄養素の過不足を AI がアドバイス
- 4 アドバイスを次の食事に活かす



体の状態の記録・運動記録

- ★ 血圧・体重を測る(スマホへ自動的にデータ送信)
- 運動する(歩数は自動、それ以外の運動は手動入力)

今までとても手間がかかっていた食事記録なども、この方法なら簡単かつ正確に記録できます。そのため、労力や時間的制約を理由に敬遠していた方でも、気軽に楽しく生活習慣の改善に取り組むことができるようになっていきます。この仕組みが一般的になることで、特定保健指導の受診率アップ、途中離脱者の減少、また医療現場における人材不足の軽減などにつながる事が期待されます。

AI を生活の身近なところに取り入れ、生活習慣病予防を習慣にして、健康な人生を送りましょう。

■ 当院での研究参加要件

- ・ 当院で特定健康診査を受診し、特定保健指導の対象となった方
- ・ 当院の研究事務員から説明を受け、書面による参加の同意が得られる方
- ・ 高血圧、脂質異常症、糖尿病などの治療(薬物治療)を行っていない方

【お問い合わせ】

芳珠記念病院 健診センター
TEL: 0761-51-5553 (直通)
月～金 9:00-16:30
第2・4・5土 9:00-12:00

研究代表者より

この度、私が所属する金沢大学を中心とした研究グループは、AI・IoT を特定保健指導の場で活用し、有用性や安全性などのエビデンス構築、そして将来的なオンライン保健指導の確立を目指すことになりました。

本研究の成果により、受診者「自ら」が主体となり、「楽しく」健康管理に取り組むことができる新たな保健指導サービスが構築され、国民全体の健康寿命の延伸と健康格差が縮小することを期待しています。各研究機関および研究者一同で、皆様の健康のサポートをさせていただきます。





1 January

19 まちづくり出前講座（岩内町町内会）



岩内町公民館で「まちづくり出前講座」を開催しました。当院の理学療法士2名が講師を務め女性の参加者約30名が、身体を動かしながら、むくみなどの解消法を学びました。

22 地域連携勉強会（全4回シリーズ）



今年度最終回となる今回は、第一三共株式会社と共催。公立能登総合病院 歯科口腔外科部長の長谷剛志先生をお迎えして、認知症と「食べる力」の関係についてお話いただきました。

23 クアハウス九谷 認知症予防講話



昨年度に引き続きクアハウス九谷と協働で認知症予防講話を開催。当院から介護療養病棟の職員6名が講師として参加しました。約70名もの参加があり、関心の高さが感じられました。

28 「病モンスター」講演会 in 辰口中央小学校



白倉内科次長が、辰口中央小学校6年生118名を対象に、生活習慣病の特別授業を行いました。アニメを用いた解説で、児童からは「とても怖い病気だと思った」などの感想が聞かれました。

「看護師特定行為研修制度」は、医師や歯科医師の判断を待たず、一定の診療補助（特定行為）を実施できる看護師の養成制度で、当院は2018年4月より研修施設となりました。今回はその1期生3名が2区分(右下に記載)の研修を修了しました。これにより、他施設での研修修了者を合わせて、ほうじゅグループ内の修了者は計6名となりました。

2 February

26 小松・能美救急合同症例検討会



小松市消防本部、能美市消防本部、やわたメディカルセンターとともに、救急搬送の症例検討会を開催しました。約80名が参加し、実際の搬送症例などをもとに活発な意見交換を行いました。

3 March

2 加賀地区リウマチ講演会



小川整形外科医長が、小松市で開催された加賀地区リウマチ講演会で講師を務めました。約30名の参加者に、「足の専門医」ならではの日常で活かせる知識について講演しました。

3 まちづくり出前講座（赤井町町内会）



赤井町広域働く婦人の家において、内科の白倉医師による「アニメーションで見る生活習慣病の実際」と題した出前講座を行いました。当日は近隣の住民約30名が参加しました。

「看護師特定行為研修」を修了しました



【右】
6階病棟 師長
山下 由美子
【中】
6階病棟 主任
由本 聡登美
【左】
陽翠の里 係長
山崎 清美

【研修区分】①栄養及び水分に係る薬剤投与関連
②血糖コントロールに係る薬剤投与関連

ほうじゅグループ

医療法人社団 和楽仁

- 芳珠記念病院
- 居宅介護支援事業所
- ほうじゅ訪問看護・リハステーション緑が丘
- グループホーム陽らら

社会福祉法人 陽翠水

- 介護老人保健施設 陽翠の里
- 共生型福祉施設 ジーヒルズ
- 訪問介護 ビジットケアひすい
- 通所介護 デイサービス零
- 地域包括支援センター 能美市辰口あんしん相談センター
- 企業主導型保育・病児保育 キッズベースみどりがおか
- 学童保育 ひすい放課後児童クラブ ヒルズクラブ
- 児童発達支援・放課後等デイサービス ネクストステップ
- 給食・配食サービス ひるすきつつん緑が丘
- カフェ ちゃらすカフェ
- 小規模多機能型居宅介護 コミュニケア緑が丘

信和商事株式会社

- 福祉用具貸与 ライフケア芳珠

ほうじゅグループのモットー「和楽仁」

仲よく楽しく
人と社会を健康に

芳珠記念病院の基本方針

1. 地域医療を担う病院として、当院に関わる皆様の生涯の健康を支えます。
2. 心のふれあいを大切に、安心できるパートナーシップを築きます。
3. 利用される皆様の権利を尊重し、十分な説明と同意のもとに、参画できる医療を提供します。
4. 救命救急から慢性疾患まで、最新の科学的根拠に基づく、安全で的確なチーム医療を、多職種協働で提供します。
5. 地域との交流を大切に、社会保障の向上と経済の振興に取り組みます。

編集後記

10年程前まではまだ持っている方がほとんどいなかったスマートフォン。最近では日常生活になくてはならないモノだという方も多いのではないのでしょうか。今回の特集はそんなスマホを活用して生活習慣病を予防しようという試みです。

“あすけん”アプリは研究に参加しなくても、ダウンロードすればすぐに使用できます。紙もペンも使わず、簡単にできるこの方法、ぜひ一度、試してみてください。